




# PFI 推進委員会 事業部会報告書 概要

平成29年3月

PFI推進委員会事業部会（部会長：柳川範之東京大学大学院教授）

## I 民間提案の積極的活用

- 施設整備等を伴う事業での民間提案手法は主に3種類

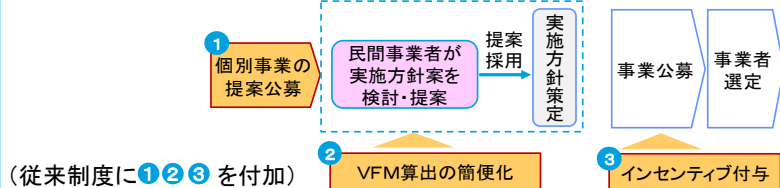
サウンディング調査	民間発案	PFI法に基づく民間提案
事業の初期段階で、市場性や活用アイデア、参加しやすい公募条件の検討のため、個別に民間事業者から広く意見を聞く方法 	公募や事業リストで対象事業を限定し、民間事業者からアイデアレベルの提案を受け付ける方法 	民間事業者が公共に代わってPFI事業の詳細な案を提案 
提案に係る民間の負担： 小～中	小～中	大
期待されるVFM発現： 効果あり	効果あり	効果大
公共の事務負担軽減： 効果あり	効果あり	効果大

- 民間提案の推進に係る4つの論点をもとに検討

- 民間事業者の負担軽減
- 適切なインセンティブ付与
- 民間事業者への情報開示
- 企業ノウハウの保護

① 負担が小さいアイデアレベルの提案  
「サウンディング調査」「民間発案」 → **普及**

② 本格的な事業内容を求める提案 → **公共側の取組を付加し運用改善して普及**  
「PFI法に基づく民間提案」



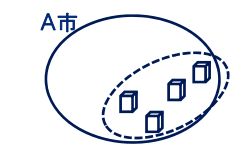
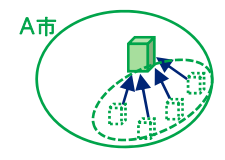
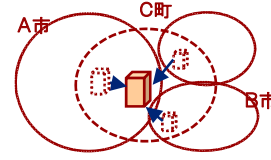
ノウハウレベルに応じた二段構えの民間提案を推進

【具体的取組】

- 民間提案を活用する地方公共団体等に対する支援事業の実施

## II バンドリング・広域化の推進

バンドリング【複数施設に関する事業を一括して事業化】

	バンドリング	集約化・複合化	広域化
概要	 単一の地方公共団体が管理者	 複数施設を一つの施設に集約化・複合化	 複数の地方公共団体が管理者
課題	地元の関係者からの理解が得られにくい	施設の持つ拠点性、集客性などのメリットが十分認知されていない	市町村間の調整を行う受け皿が必要

地域プラットフォーム形成・運営支援を通じて、  
地方公共団体への情報提供と事業の掘り起こしを図る

【具体的取組】

- バンドリング・広域化の案件形成に資する地域プラットフォーム形成・運営の支援

## III コンセッション事業の運営段階における人材供給

コンセッション事業に必要な人材について

- ・ 派遣後にOJTで実務経験を積むことが重要とする共通の認識
- ・ 事業の分野や条件の違い等によって専門性を必要とする場合と必要としない場合がある。

・ インフラ管理のマインド、知識、実務経験は必要

人材供給厳しい印象



・ 特別な素養、専門性は必要ない  
・ 一般的な公務員相当で十分

将来的にも問題ない

- 現時点の情報だけで一般的な傾向を特定することは難しい。
- 今後も調査を積み重ね、人材供給のイメージを見極めていく。